

商工・水産業の経営支援は

新規の融資制度で支援する



中島 一郎 議員

興計画推進融資を対象として、中小企業者等の経営を効果的かつ効果的に機能させるために関係機関と連携し支援する仕組みを構築した。支援策は、保証料補給による支援、利子補給による支援などを行い、商工会の会員以外の事業者の方も利用可能となっている。

これにより、町単独の商工経営資金融資は今年度をもって廃止する。

松田 副町長

水産業経営資金融資制度は、大型、中型カツオ船を中心に経営の安定と運営に大変貢献してきた制度である。長期の操業期間による資材や燃料の調達、餌の確保等は、現金取引が必要な場合もあり、利用者の要望によって金融機関の協力もいただき、この融資制度は継続していく。

大西 町長

現況の融資制度については、客観的に見て分析し判断しなければならない。より良い融資制度を作りあげることができないかということが、第一の出発点であって、その帰結が今回の経営支援事業融資となっている。貸付利息の軽減についても、現況の厳しさを訴え、随時、金融機関との交渉を継続的に実施する。

門田 産業推進室長

今回の融資では、高知県融資制度のうち、安心実現のための高知県緊急融資と産業振



道の駅「なぶら土佐佐賀」

水産業振興

アマダイ放流
取り組みは
継続と
広域化を目指す



アマダイ



佐賀沖へのアマダイ放流の一コマ

を訴え、広域的な取り組みが重要視される。このことを黒潮町から発信する取り組みはできないか。

松田 副町長

アマダイの放流事業は、漁獲量等も調査して、今後も継続の方向で検討していく。

また、行政や漁業者で構成される会議等において、黒潮町から情報発信を行い、同一の問題意識を共有しながら取り組むこととする。

【その他の質問】

※公の施設の管理運営と業務委託契約等について

問 アマダイの種苗育成は技術が十分に確立されてなく、病気の発生率も高く、県外発注が難しいところ、早い段階で山口県からの購入によって、今年2月に佐賀沖へ6500尾、4月には入野沖に1万尾の放流が実施された。事業効果を上げるためには、放流の継続と近隣の自治体や各漁協に対して放流の必要性